

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、湾中央部から湾奥寄りに 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

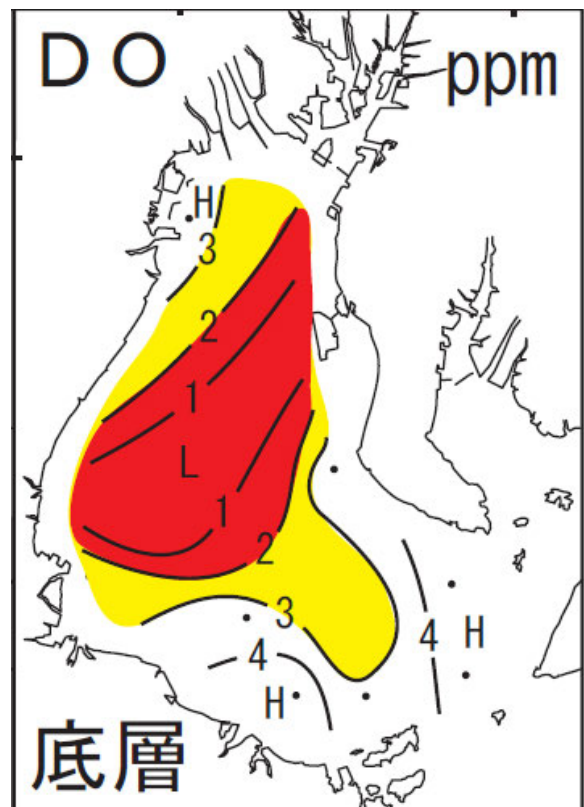
8 月 3 日の調査結果

8 月 3 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 26.3～29.7℃、10m で 21.6～23.6℃、底層で 17.7～23.5℃ の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m と底層ではやや低めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.5～11.5ppm、10m で 2.8～6.9ppm、底層で 0.0～4.9ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m と底層では平年並となっていました。

底層では湾中央部から湾奥寄りに 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されていますが、先月の観測時より規模が縮小していました。

しかし、表層と底層の水温差などにより、海水の上下混合が起こりにくい時期であるため、再度規模が拡大する可能性があります。



底層貧酸素水塊分布図